

サイエンス・アクセス(SA) 全体ポスター発表会

1年生のSSH学校設定科目「サイエンス・アクセス(SA)」では、クラス毎に、「情報」「福祉」「医療」「エネルギー」「環境」「都市構造・都市計画」「防災」「流通経済」の8つのテーマに生徒達に分かれ、郷土や科学技術がかかわる現代社会の問題について調査・研究を進めてきました。その成果を、1月21日に行われたSA全体ポスター発表会(学年でのグループ別ポスターセッション)で披露しました。

11月にはパワーポイントを用いたクラス発表会を行い、そこでの質問や意見をもとに内容を深めてきました。それを基にポスターの作成やポスターでの発表、質疑応答の準備を行い、全体ポスター発表会に臨みました。

1年生の生徒全員がテーマ毎に教室に分かれ、さらに各クラス1名ずつの小グループになって発表する形式で行いました。一人ひとりが調査・研究の成果を他のクラスの生徒の前でポスターを使って発表し合い、それぞれの内容について討論しました。聞き役の生徒も、それぞれ類似の分野について研究してきているので、的確な質問や意見が出されていました。また、発表者も、様々な意見に対し、ポスターに盛り込めなかった内容や自分の考えを盛り込み真摯に答えていて、活発な意見交換がなされました。



SA全体ポスター発表会の感想

- ポスター発表会では、どのクラスの発表も内容が被ることなく、たくさんの知識を手に入れることができた。同じテーマでもたくさんの視点から見ることができるということがわかった。また、違う内容でも繋がっているところがあったりして、とてもおもしろい発表会となった。どのクラスの発表も論理的で分かりやすく、質疑応答でも活発に意見や質問を出し合って話し合いをすることができた。(女子)
- 他のクラスの人達の様々な目線から質問や意見が飛び交い、よい話し合いをすることができた。もっと研究内容を向上させるために、今回頂いた質問、意見を自分のグループに伝え、分かりやすく変えていきたいと思った。私自身も積極的に質問や意見を言うことができた。納得できるまで聞き、理解を深めるということの大切さを学ぶことができた。クラスという枠を超えた発表は良い経験となり、今後の人生に役立てていきたいと思った。(男子)
- SAでは自分で調べることによってテーマに対する意識が変わった。また、研究することの他に、発表するときはどうしたら相手にしっかり伝わるかの工夫も試される。SAは、将来にもとても役立つと思ったので、これからも続けて欲しいと思った。(男子)
- 私は、質問を発表班の全員に行ったが、班としてみると無言が長かった気がする。やはり、何も知らないゼロからのスタートで発表を聞いてすぐ質問というのは厳しいのでは?と思った。前もって他の所のポスターを見るなどの、予備知識を入れる時間があればもっと質問が出るように感じた。(男子)